

レジメンcode:	C90-15
適応がん種:	多発性骨髄腫
レジメン名:	DKd療法(皮下注) 75歳以下
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	ダラキューロ	1800	mg/body	皮下注[*1]	[*2]d1、8、15、22
	カイプロリス	[*3]56	mg/m ²	点滴(30分)	d1、2、8、9、15、16
	レナデックス	20	mg/body	内服(朝食後)[*5]	d1、2、8、9、15、16
		[*4]40			d22

※ダラキューロ開始前に不規則抗体スクリーニング検査を含めた一般的な輸血前検査を実施すること※

[*1]ダラキューロ15mlを約3～5分かけて腹部へ皮下注射する。〈図1参照〉

[*2]ダラキューロは1～2サイクル(1～8週目)までは1週間間隔、3～6サイクル(9～24週目)までは2週間間隔、7サイクル(25週目)以降は4週間間隔になる。(表を参照)

[*3]カイプロリスは、1サイクルのday1及びday2のみ、1回20mg/m²で開始する。

[*4]day22は、40mg/日を内服する。

[*5]infusion reactionを軽減させるために、ダラキューロ投与60分前(カイプロリスの投与があるときはカイプロリス投与30分前)にレナデックス、カロナール、d-クロルフェニラミン、モンテルカストを内服する。

連日[*6]

1) バクタ		1錠/day
アシクロビル	200mg	1錠/day
	内服	朝食後

[*6]ニューモシスチス肺炎、带状疱疹の発症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている

【1～2サイクル(1～8週目)】

1～2サイクル	1サイクル28日間										
	day1	day2	～	day8	day9	～	day15	day16	～	day22	～day28
ダラキューロ(皮下注)	↓	/		↓	/		↓	/		↓	
カイクロリス(点滴)	↓	↓		↓	↓		↓	↓		/	
レナデックス(経口)	5錠	5錠		5錠	5錠		5錠	5錠		10錠	

【内服】

day1、2、8、9、15、16

1) レナデックス	4mg	5錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day1、8、15

1) カロナール	500mg	2錠/day
d-クロルフェニラミン		1錠/day
モンテルカスト	10mg	1錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day3(1サイクル目のみ)

1) プレドニゾロン	5mg	5錠/day
	内服	朝食後

day22

1) レナデックス	4mg	[*4]10錠/day
カロナール	500mg	2錠/day
d-クロルフェニラミン		1錠/day
モンテルカスト	10mg	1錠/day
	内服	ダラキューロ投与60分前

【注射】

day1、8、15 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1 本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイプロリス		[*3]56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1 本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1 本	
		点滴 15 分	フラッシュ
4) ダラキューロ		1800 mg/body	
	皮下注	臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。	
		〈所要時間 1時間30分〉	

[*3]カイプロリスは、1サイクルのday1及びday2のみ、1回20mg/m²で開始する。

day2、9、16 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1 本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイプロリス		[*3]56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1 本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1 本	
		点滴 15 分	フラッシュ
		〈所要時間 1時間〉	

[*3]カイプロリスは、1サイクルのday1及びday2のみ、1回20mg/m²で開始する。

day22

1) ダラキューロ		1800 mg/body	内服前投薬確認
	皮下注	臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。	
		〈所要時間 ー 〉	

【3～6サイクル(9～24週目)】

3～6サイクル	1サイクル28日間										
	day1	day2	～	day8	day9	～	day15	day16	～	day22	～day28
ダラキューロ(皮下注)	↓	↓		↓	↓		↓	↓		↓	↓
カイクロリス(点滴)	↓	↓		↓	↓		↓	↓		↓	↓
レナデックス(経口)	5錠	5錠		5錠	5錠		5錠	5錠		10錠	

【内服】

day1、2、8、9、15、16

1) レナデックス	4mg	5錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day1、15

1) カロナール	500mg	2錠/day
d-クロルフェニラミン		1錠/day
モンテルカスト	10mg	1錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day22

1) レナデックス	4mg	[*4]10錠/day
	内服	朝食後

【注射】

day1、15 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイクロリス		56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1本	
		点滴 15分	フラッシュ
4) ダラキューロ		1800 mg/body	
	皮下注	臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。	
〈所要時間 1時間30分〉			

day2、8、9、16 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイクロリス		56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1本	
		点滴 15分	フラッシュ

〈所要時間 1時間〉

【7サイクル以降(25週目～)】

7サイクル以降	1サイクル28日間										
	day1	day2	～	day8	day9	～	day15	day16	～	day22	～day28
ダラキューロ(皮下注)	↓	↓		↓	↓		↓	↓		↓	↓
カイクロリス(点滴)	↓	↓		↓	↓		↓	↓		↓	↓
レナデックス(経口)	5錠	5錠		5錠	5錠		5錠	5錠		10錠	

【内服】

day1、2、8、9、15、16

1) レナデックス	4mg	5錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day1

1) カロナール	500mg	2錠/day
d-クロルフェニラミン		1錠/day
モンテルカスト	10mg	1錠/day
	内服	カイクロリス投与30分前

day22

1) レナデックス	4mg	[*4]10錠/day
	内服	朝食後

【注射】

day1 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイクロリス		56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1本	
		点滴 15分	フラッシュ
4) ダラキューロ		1800 mg/body	
	皮下注		臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。 〈所要時間 1時間30分〉

day2、8、9、15、16 【ケモセーフ使用】

1) ブドウ糖液5%	50ml	1本	内服前投薬確認 ルート確保
2) カイクロリス		56 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
注射用水	100ml	1本	インラインフィルター必須
ブドウ糖液5%	100ml	50 ml	40mg:20ml、10mg:5mlの注射用水で溶解。
	主管①	点滴 30分	2mg/mlの溶解液になる。
3) ブドウ糖液5%	50ml	1本	
		点滴 15分	フラッシュ

〈所要時間 1時間〉

◎注意事項

*カイクロリスは、体表面積が2.2㎡を超える患者では、体表面積2.2㎡として投与量を計算する。

*カイクロリスは、ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)を有する患者は

初回及び以降の用量を25%減量を考慮する。

*带状疱疹の予防が推奨されている。ニューモシスチス肺炎の予防を考慮することが必要とされている。

*ダラキューロは赤血球膜表面上に発現しているCD38と結合し、間接抗グロブリン(間接クームス)試験結果に干渉し、不規則抗体の検出に関して偽陽性になる可能性がある。(この干渉はダラキューロ治療中、及び最終投与から6ヶ月続く可能性がある。)

*ダラキューロは調製後7時間以内に投与終了すること。

[*1] <図 投与部位に関する注意事項>

投与部位に関する注意事項

- 本剤は皮下のみに投与し、静脈内には投与しないでください。
- 本剤は臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、15mLを約3~5分かけて投与してください。他の部位への投与はデータが得られていないため行わないでください。
- 同一部位への反復注射は行わないでください。
- 皮膚の発赤、挫傷、圧痛、硬結又は瘢痕がある部位には注射しないでください。
- 患者が痛みを感じた場合は、注射速度を減速又は注射を中断してください。減速しても痛みが軽減しない場合は、残りを左右逆側の腹部に投与することができます。
- 本剤投与中は、同一部位に他の薬剤を投与しないでください。

投与部位と投与順番例

